





## 国語問題

はじめに、これを読むこと。

## (注意事項)

1. この問題用紙は十五ページまでである。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まない。
2. 解答用紙の所定の欄に、必ず氏名を記入すること。
3. 解答用紙には受験番号が印刷されているので、受験番号が正しいかどうか受験票と照合して確認すること。
4. 解答はすべて「解答用紙」の解答欄に記入またはマークすること。解答欄以外のところには何も記入しないこと。
5. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれもHB・黒)で記入すること。
6. 訂正は消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
7. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
8. 文字は楷書で正確に書くこと。
9. 解答用紙は持ちかえないこと。
10. この問題用紙は必ず持ちかえること。
11. この試験時間は六十分である。

(マークの記入例)

良い例	悪い例
	  

(一) 次の文章を読み、後の問に答えよ。

和歌には、同じ語にふたつの意味を掛ける技法が古くからあった。それは、ことばのワザを競い楽しむ、文芸というジャンルの特性だった。教えを説く場合などは、「あいまいな」ところがあつてはならないのは、日本語でも同じだ。その時代を生きるふつうの人びとに意味をはつきり説かないといけない。

ただ、場面や文脈に頼つて省略を多くする言語では、その時代を離れると意味がわからなくなることが多い。それで、長いあいだには、教えの場合でも、ふたつ以上の解釈が生まれることがある。日本のコトワザに「犬も歩けば棒にあたる」がある。いろはカルタの最初に出てくる。犬、たつてうろろ歩きまわると人に棒をあてられるという意味だ。だから、やたらに動きまわるものではない、という教えにも、人も出歩くといろいろなことにあつて、そのうちには幸運もある、という教えにもなった。どちらがもとの意味か、決め手はないらしい。が、コトワザは、「急がば回れ」のように、逆をいったり、ヒネつたりしないと面白くない。人が聞いて感心しない。感心しなければ覚ええない。だから、わたしは、後の方がもとの意味だと思う。

「a」は、同情され、親切にされていると、甘えてばかりになり、その人のためにならない、という意味で使う人が増えているようだが、もとは、他人に親切にしていると、やがては自分も親切にもらえる、親切はめぐりめぐって自分のためになる、という教えだった。コトワザは、短いことばにまとめるので、こんな勘ちがいも起こる。それは外国語のコトワザでも起こることだ。つまり、「あいまいさ」を活かすのは和歌や、和歌から出た俳諧というジャンルに特徴的なことで、物語もそれと地つづきだった。

でも、そういう文学こそ日本人の心を表すものではないか、と思う人もいるだろう。

b。その国の文学こそ、その民族の心を表すという考えは、西洋近代がつくつたものだ。

ヨーロッパでは、ラテン語で書かれた聖書を中心にしたキリスト教文化が普遍的な価値をもっていた。それに対して、自国語で書かれた著述全般、とくに人文系の著述、そのうちでも詩、小説、戯曲(演劇の台本)など、言語芸術がその国や民族の文化を

代表するという考えがつけられたのだ。音楽や絵画、彫刻は長いあいだキリスト教と一体のものであったし、そうでなくなっても、言葉の壁をもたず、国境を越えて共有されやすい。

ただし、特例がある。マルティン・ルターの宗教改革は、ある地方のドイツ語で聖書を翻訳した。それがドイツ語の標準になった。それで、ドイツでは、キリスト教プロテスタントリズムと人文学や芸術はかなり親密な関係にある。

それに対して、日本でいう「文学」は、もともと中国語で文章博学、文で書かれた学問によく通じるという意味だった。そして、中国から渡ってきた儒学を中心にする学問を指している語だった。だから、明治になるまで、「日本文学」ということばはなかった。日本では、和歌も物語も、明治になって西洋の「文学」という考え方を取り入れるまで、「文学」と呼ばれたことは一度もなかった。まだ例外は見つかっていない。

「日本文学」ということははなくても、日本の「文学」にあたるものはあつたはずだと、考える人もいるだろう。ところが、いまの「日本文学」にあたる考え方もなかった。いま、「日本文学」という語を、われわれはふたつの意味で用いている。ひとつは、日本語で書かれた詩、小説、戯曲などを指している場合。もうひとつは「日本文学史」という場合である。

「日本文学史」という場合、どんな年表にも、その最初に『古事記』『日本書紀』『風土記』が出てくる。『古事記』は神話の書、『日本書紀』は神話と歴史、『風土記』は地誌である。「日本文学史」という場合の「文学」は、日本人が書いた書物一般のうち、とくに人文系のそれを指す語として、明治期につくられたものだ。大学の文学部の「文学」と同じ範囲をいう。その中身は、哲学、歴史、そして文字で書かれた詩、小説、戯曲などを指している狭い意味での「文学」の三つを主なものにした。これでふたつの「日本文学」ができたわけだ。

「芸術」も、明治になつて意味を変えた。もとは中国語で学問と技術をあわせた意味だった。その語源のギリシア語も、同じ意味だった。が、ヨーロッパ近代に、*art* についての考え方が変わった。真理や道徳という理性を重んじる領域から切り離して、感情の表現を「美を目的とする芸術」というジャンルとして独立させた。それは感情を自由に解放する装置となった。「芸術」は、そういう考え方に立った分類、ジャンルのくくり方になった。だから、そのような考え方が入ってくるまで、中国にも日本

にも、そのようなジャンルのくくり方はなかった。

もちろん、何かを美しいと感じることは、いつでも、どこにでもある。花を愛するのは、いつの時代にも、どの地域にもある。でも、美しいものにふれた感動を示す表現が、言葉にせよ、音楽にせよ、絵画や彫刻にせよ、それとして独立したジャンルだったわけではない。美、すなわち感情の表現は、いつも神話や信仰や労働や遊びのなかに溶けこんでいた。

ギリシア彫刻は、ギリシア神話を信じていた人びとがつくったものだ。ギリシア神話は、キリスト教にとつては邪教だ。だが、ヨーロッパのルネッサンスは、それを神話や信仰と切り離し、美術の古典として崇めるようにした。

これがわかりにくければ、反対を考えてみるとよい。いまだつて、崇高なものへの憧れや、働くことのよろこびや苦しみ、世の中の醜さや辛さの訴えや、それを克服しようとする表現は、さまざまな芸術のなかにあふれている。それらは果たして、真理や道徳から切り離された表現といえるだろうか。つまり、理性の働きに縛られない感情を自由に解放する装置としてヨーロッパ近代が作りだした「芸術」は、いわばタテマエであつて、そのなかには、絶えず真理や道徳についての考えがもちこまれているのだ。

日本古代の和歌や物語は、たしかに感情表現に満ちている。それで、ヨーロッパ近代の考え方を受けとつた人びとはためらうことなく、これらを「芸術」と考えた。しかし、そこに満ちているのは、神話や信仰が生きていた時代の感情なのだ。

ヨーロッパ近代に生まれた、この「芸術」というコンセプトがもちこまれたのは明治期のことだ。この新しい考え方を、伝統的な「芸術」や「文学」という語で受けとめ、それを翻訳語にした。昔の使い方を知っている人びとには「ああ、これは新しい意味だ」とわかるから、伝統的な意味と新しい意味を使い分けることができた。ところが時が経つと、古い意味が忘れられ、まるでヨーロッパ近代のコンセプトで、昔の日本人も暮らしていたかのように考えるようになってしまった。しかも、それに気がつかない。

たとえば能。神仏が出てこない能など、ごくわずかしかない。能は宗教芸能だったからだ。それなのに、すばらしい演劇だとか芸術だとかいう。もちろん、そういつてもよい。近代的コンセプトをズラしていることをよく承知してさえいれば、である。

コンセプトと翻訳語について、別の例をあげてみよう。日本語では、大英博物館、ルーヴル美術館と呼んでいる。それらは日本人が勝手に翻訳語をつけているだけで、どちらも英語では「ミュージアム」だ。それぞれのミュージアムは、それぞれ力を入れている部門がちがうが、ボストン美術館もメトロポリタン美術館も、カイロ博物館も同じコンセプトによるものだ。だから、ルーヴルにミイラが展示してあっても、なんら不思議はない。だが、もし、「ルーヴルは、ミイラを美術品としてあつかっている」などと考えたなら、倒錯になる。

ことばには歴史がある。意味も変化する。ちがう時代の語の意味を現代の意味でとると、まちがう。それは誰でも知っている。一語の意味が変化するのは、その語と他の語との関係、<sup>C</sup>コンセプトのしくみが変化することだ。それをよくわきまえないと、外国語と日本語のコンセプトをとりちがえるのと同じような倒錯や混乱が起こる。

コンセプトとそのしくみ、コンセプトを含むジャンルごとの約束のちがいは、文化の歴史のちがいによって生まれる。それらのちがいは、どの言語にもある。日本語だけがユニークなのではない。日本語だけがユニークだと思っていると、逆に日本語のユニークさ、言語一般における日本語の特性がわからなくなる。

つまり、「日本語とは何か」を知るには、それぞれの言語表現の特性を日本文化の歴史のなかで見えてゆくことが必要だ。近ごろの日本語論には、この視角が根本的に欠けている。

(鈴木貞美の文章による)

問一 本文の内容を簡潔に示す(見出し)として最も適切なものを次の1〜5の中から一つ選び、その符号をマークせよ。

- 1 日本語の歴史
- 2 文化史の視角
- 3 信仰と芸術と
- 4 文化という誤解
- 5 感情表現という技術

問二 空欄  に入ることわざを、漢字とひらがな合わせて十字以内で記せ。

問三 空欄  に入る最も適切な文を次の1〜5の中から一つ選び、その符号をマークせよ。

- 1 日本文化の底流に「あいまいさ」があるのだから
- 2 まさにそこに日本文学の源流がある
- 3 いや、文学と心が一つとは限らない
- 4 それが大きなまぢがいなのだ
- 5 たしかにそこには一理ある

問四 傍線部A「いまの『日本文学』にあたる考え方もなかった」とあるが、なぜか。理由として最も適切なものを次の1〜5の中から一つ選び、その符号をマークせよ。

- 1 明治期に西洋の「文学」という概念が導入される以前は、和歌や俳諧、日本人が書いた人文系の書物などは「文学」と考えられていなかったから。
- 2 従来「日本文学」は、日本語で書かれた詩、小説、戯曲などを指す場合と、「日本文学史」を指す場合とに分裂し、概念としての統一性を欠いていたから。
- 3 『古事記』『日本書紀』『風土記』は、神話、歴史、地誌としての性格が濃厚であり、西洋における「文学」のコンセプトからは逸脱していたから。
- 4 儒学を中心とする学問を意味する旧来の「文学」という概念は、西洋における「文学」と大きく異なっており、とても「日本文学」とは見なせなかったから。
- 5 近代以前の和歌や俳諧などは、感情を自由に解放する「芸術」としての性格を有しておらず、したがって「日本文学」は実質的に存在しなかったから。

問五 傍線部B「もし、『ルーヴルは、ミイラを美術品としてあつかっている』などと考えたら、倒錯になる」とあるが、なぜか。理由として最も適切なものを次の1〜5の中から一つ選び、その符号をマークせよ。

- 1 ミイラは、感情表現を目的とする芸術とは言えず、美術館にはふさわしくないから。
- 2 ミイラは死後の甦りを信じた古代人の信仰に基づいて加工されたのに、そのことを無視しているから。
- 3 博物館も美術館も、本来「ミュージアム」という理念のもとに設立・運営されてきたものであるから。
- 4 「ミュージアム」にはそれぞれ得意部門があり、ルーヴルは博物館部門を得意としているから。
- 5 神話や信仰と切り離してギリシア芸術を把握するというヨーロッパの芸術観がそもそも誤りであるから。

問六 傍線部C「コンセプトのしくみが変化すること」とあるが、どういうことか。芸術という言葉为例にして本文中の語句を用い、四十六字〜五十字(句読点も一字と数える)で説明せよ。

問七 次の1〜5の中から、本文の論旨に合わないものを一つ選び、その符号をマークせよ。

- 1 ギリシア彫刻はギリシア神話を信じる人々が作ったものだが、理性から解放された感情がそこに吐露されている点をルネッサンスは評価した。
- 2 詩歌や物語といった日本文学の特徴が「あいまいさ」にあるという考え方は、西洋近代がもたらしたものである。
- 3 ヨーロッパでは、キリスト教文化が普遍的価値をもっていたため、キリスト教文化の理解はラテン語で、自国の文化創造は自国語で、という状態が続いていた。
- 4 ことばの「あいまいさ」を活かすのは、和歌や俳諧に特徴的なことではあるが、それは必ずしも日本語のみの特質とは言えない。
- 5 対象を美しく表現した芸術作品と、神への信仰心とは異質ゆえ、純粋に対象は対象そのものとして鑑賞すべきである。

(二) 次の文章を読み、後の問に答えよ。

初めて訪れた南米ガラパゴス諸島は、意外にもゼツカイの秘境ではなく、満員のクルーズ船が行き交う一大リゾート地だった。

赤道の真下を、観光客が水着姿で散策し、ゾウガメやイグアナに歓声をあげる。

言うまでもなく、英博物学者ダーウインが進化論を着想した島である。世界自然遺産第一号としても名高い。だが昨今の日本では、もっぱら「ガラパゴス化現象」の島だろう。

ご承知の通り、独特の進化をとげた携帯電話やコンピュータが海外市場でふるわない現状を揶揄する言葉だ。流行語としては傑作の部類だと思うが、はてさて当のガラパゴスで日本製品は不振なのか。椰揄のニュアンスを知ったら島の人々はどんな顔をするのか。そもそもガラパゴス化とは何なのか――。

まず訪れたのは、島最大の携帯ショップ。店頭に並んだ三十機種のうち台数が多いのはサムスン電子とLG電子の韓国勢だ。ノキア(フィンランド)や華為技術(中国)がこれを追う。

日本はどこかと見回すと、ソニー・エリクソン製が隅にぼつんと一台ある。サムスン携帯を手に来店した青果市場社員(28)は「車なら日本車が一番だが、携帯では韓国が上だね。日本はもともと機種が少なくて」とひと言。ガラパゴス携帯と自虐的な名を付けられた日本製だが、ガラパゴス島の携帯市場ではまったく影が薄い。

家電製品はどうか。ルイサ・パラシオさん(44)が経営する電器店の品ぞろえを見せてもらった。テレビはLG、洗濯機はサムスン、ラジカセは大宇が圧倒。どれも韓国メーカーだ。

「十一年前に開店したころは日本製がギッシリでした。まずヤマハの楽器が消え、次にシャープの家電が消え、サンヨーが消えた。今は東芝も日立もありません」。店主は、

a

を数えあげるような口調で話した。



あちこちで尋ねてみたが、はるか極東の日本で「ガラパゴス」が盛んに語られていることを知る人はいなかった。

b 言

葉だと説明したが、椰揄する響きに気づくと、皆たちまち表情が曇る。市役所で会ったレオポルド・モラ市長(41)は不快感をあらわにした。「ガラパゴスをそんな否定的な意味で使うのは看過できない。わがエクアドルの駐日大使に知らせて日本政府に抗議しなくちやいかん」

眉間にしわが寄っている。あわてて話題を変えた。「シャープが情報端末をガラパゴスと命名して、けっこう評判です」

これも裏目に出た。「ナンセンスな商品名だ。日本製品を断りもなくガラパゴスと呼んでほしくない。潔く日本の国名をカンを<sup>②</sup>してハボン携帯とかハボネス端末と改名してもらいたい」

市長の不愉快さは、立場を変えれば、私たち日本人にもわかる気がする。たとえば米国では一昨年あたりから、デフレの畏<sup>おそ</sup>はま<sup>つ</sup>て長く停滞することを「米国経済の日本化」と表現するようになった。元大統領や高名な経済学者が口々に「日本化を避けよ」「日本病に感染するな」などと言う。日本人には正直、耳障りな言い回しだ。

島で驚いたことが二つある。

一つは自国通貨がないことだ。エクアドル政府は、壊滅的なインフレに参つて十一年前、米ドルを採用した。c とい<sup>い</sup>う賭けだが、ドルのサンカ<sup>③</sup>に入ったおかげで、少なくともガラパゴスの観光産業は活気づいた。為替リスクが消え、外資がどつと流れ込んだ。

究極の「米国化」である。島で流通しているのはヨレヨレのドル札ばかり。すべては米金融当局しだいで、たとえばドルが暴落しても、エクアドル当局は何の金融政策も打ち出せない。

二つ目は、生物学者らの反対にもかかわらず、島が観光開発に突き進みつつあることだ。生態系を維持するには年間入島者数二万人が限度とされていたのに、今や十四万人を受け入れる。

もとは無人島だったのが、本土の倍近い賃金水準にひかれて四万人が移住。人の往来に伴い動植物の外来種が増えた。在来種

が危機にさらされてもなお、ホテル建築の槌音はやまない。

考えてみれば、こうした賭けを島に迫ったのは、グローバル化した経済そのものだろう。ドル決済とエコツアーで島を世界に売り込み、本土より豊かになった。その反面、金融の運命は米国に預け、肝心の希少種の運命まで外資に託して、島はひどく無防備になった。

日本のガラパゴス化を考えるつもりが、ガラパゴスの将来を案じて考え込んでしまった。

日本化する米国、米国化するガラパゴス、そしてガラパゴス化する日本。比喩の次元はまちまちながら、これら三つを結び、グローバル化のもたらす不安の輪がくつきり浮かぶ。大国も孤島も、世界経済の大波に洗われて、それぞれが行く末に底知れぬ不安を感じているのだ。

さて今回のガラパゴス取材では、会う人会う人みな、私の話を聞いて気分を悪くした。万々一、ガラパゴス議会が日本の流行語を非難決議したり、駐日エクアドル大使からシャープに抗議文が届いたりしたら、それはたぶん私のせいだと思う。

あらかじめおわびします。

(山本季広の文章による)

問一 傍線部①②③のカタカナの部分を漢字に改めよ。

問二 左の一文は、もともと本文の、ある段落の最後にあつたものである。その段落の末尾の五字(句読点も一字と数える)をそのまま抜き出して記せ。

ガラパゴスの人々も同じだろう。

問三 傍線部 A「そもそもガラパゴス化とは何なのか」とあるが、筆者の考えとして最も適切なものを次の1～5の中から一つ選び、その符号をマークせよ。

- 1 それは、世界の国々がそれぞれに孤立化を深めていくことを意味している。
- 2 それは、ガラパゴス諸島がアメリカ化することの、一種の裏返しの現象である。
- 3 それは、シャープが作った情報端末の行く末を暗示する、象徴的な言葉である。
- 4 それは、どんな経済発展であっても、行き着くところは同じであると考えさせる。
- 5 それは、経済のグローバル化の中で生まれた、一つの不安な状況を暗示している。

問四 空欄 a に入る最も適切なものを次の1～5の中から一つ選び、その符号をマークせよ。

- 1 絶滅種
- 2 家電名
- 3 ブランド
- 4 日本製品
- 5 自然遺産

問五 空欄 b に入る最も適切なものを次の1～5の中から一つ選び、その符号をマークせよ。

- 1 日本のある有名なメーカーがダーウィンを讚えるために用いた
- 2 ガラパゴスで絶滅した種の知名度を利用して製品に名付けた
- 3 ガラパゴスの生態系が危機にさらされていることを訴える
- 4 日本国内で独自に発達した製品を島固有の動物にたとえる
- 5 ガラパゴスと日本の地理的類似性を説明しようとする

問六 空欄

c

に入る最も適切なものを次の1～5の中から一つ選び、その符号をマークせよ。

- 1 デフレ政策をとる
- 2 通貨主権を放棄する
- 3 市場開放を規制する
- 4 賃金水準を底上げする
- 5 グローバル化を拒否する

問七 傍線部B「肝心の希少種の運命まで外資に託して」とあるが、その説明として最も適切なものを次の1～5の中から一つ選び、その符号をマークせよ。

- 1 動物を減少から救ってくれるのは外国人観光客であるということ。
- 2 大変貴重な動物の保護が外国資本の導入で可能になるということ。
- 3 動物の保護にまで影響する島の経済を外国任せにするということ。
- 4 島の経済を支える観光産業の担い手は島の動物たちだということ。
- 5 外国資本の導入を進める政策によって希少種を増やすということ。

(三) 次の文章は、鎌倉時代の説話集「撰集抄」の一節である。これを読み、後の問に答えよ。

恵心僧都の妹に、安養の尼といふ人侍りけり。年頃あさからず思ひけるあるじにおくれ給ひて、やがてさまかへ、小野といふ山里に籠りて、地藏菩薩を本尊として、明け暮れ行ひ給へり。ある時、夜ふくるまで心を澄まして勤めうちし、「かならず後生助けさせ給へ」と祈り申されて、うちいね給ひ侍りけるに、夢にこの地藏菩薩おはしまして、「いかにもたすけんぞ。それについても、つとむることを物憂くすな」と仰せらるると思ひて、夢さめ侍りけり。その後は、いよいよ心をおこして、むらなく勤め行ひ給ひけるしありて、最後臨終の夕べに、まさしく紫雲空にそびき、天花交はり下りて、往生の素懷をとげ給へりける、返す返すもいみじく侍り。

この尼、「我病つき侍らむに、必ずわたりて最後の知識となり給へ」と、恵心僧都に契り申し侍りけるが、僧都住山の間、にはかに病出でて、この世はかきりと見え侍りければ、日頃言ひ約束せし事に侍れば、僧都にかくときこゆるに、住山のをりふしにて、「山より外へ出づる事叶ふべからず。輿に助けのせて、西坂本へおはし侍れ。後生の事も聞えん」とてありければ、心地もきえ入る様に覚え、身も例ならねども、とかく助け乗せ、西坂本へおはしけるほどに、道にてつひにはかなく成り侍りぬ。僧都待ちえていそぎ見給ふに、はやこときれにけり。あさましとも、心うしともいふばかりなし。

なほもしやと覚えて、修学院の勝算僧正の庵室に、死せる人をかきいれさせ、僧正に「加持して与へ給へ」とあれば、「大きにかたき事に侍り」。さりながら、不動の呪を満て給ふ。僧都又地藏を念じ給へりけるに、数十返に満たざるに、尼生き返り侍りて、かたりけるは、「X、Y の我が二つの手を引きて、冥途より返し給ひしに侍り」とぞ申されける。その後、六とせを経て、思ひのごとく僧都の教化にあづかりて、ホイのままに往生し給ひてけり。

定業非業は知らず、すでに閻魔の庁庭に臨み侍る人生き返り侍る程の験徳は、ありがたくは侍らずや。誰もさるほどのいみじき人を親しき方にもちたらば、なにしにか、のちの世をもしそらすべきとおほえ侍れども、更にかひなし。「智者貴人を、兄にても弟にても持ちたらましかば、なんなんとあらむ」と案じ居たるは、兎角の弓に亀毛の矢をはげ、空花のまとを射むとするに

たがはず。また、わが身おろそかにして、ふかきあさきさき<sup>〔注4〕</sup>らもなければ、ただ信心をおこして、ひたすらに仏の御名を唱へ奉るべきに、ただ物憂くしてのみ明け暮れて、よはひのいたづらにたけぬることの悲しさよ。さても、安養の尼のありさま伝へ聞き侍るに、いかに心も澄みておはしけむと、返す返す Z 侍り。

〔注1〕 知識——仏縁を結ばせる人。

〔注2〕 不動の呪——不動明王を念ずる時の呪文。

〔注3〕 定業非業——前世の業因によつて定まつている寿命を全うしての死と、全うしないでの死。

〔注4〕 さきら——才気。

問一 傍線部①の漢字の読みをひらがな(現代仮名遣い)で記せ。

問二 傍線部②のカタカナの部分を漢字に改めよ。

問三 傍線部A「さまかへ」の内容として最も適切なものを次の1〜5の中から一つ選び、その符号をマークせよ。

- 1 離縁すること
- 2 出家すること
- 3 零落すること
- 4 身を隠すこと
- 5 髪上げをすること

問四 傍線部B「いかにもたすけんするぞ」の意味として最も適切なものを次の1～5の中から一つ選び、その符号をマークせよ。

- 1 なるほど助けるであろうよ。
- 2 どうしても助けられないぞ。
- 3 なんとんでも助けるつもりだよ。
- 4 きわめて助けるのはむずかしいぞ。
- 5 どのように助けたらよいのだろうか。

問五 傍線部C「はかなく成り」と内容的にはほぼ同様のものを本文中の波線部1～5の中から一つ選び、その符号をマークせよ。

- 1 おくれ
- 2 この世はかぎり見え
- 3 閻魔の庁庭に臨み
- 4 のちの世をもしそらす
- 5 よはひのいたづらにたけ

問六 傍線部D「あさましとも、心うしともいふばかりなし」を口語訳せよ。

問七 空欄  X  Y に入る語の組み合わせとして最も適切なものを次の1〜5の中から一つ選び、その符号をマークせよ。

- |   |   |    |   |    |
|---|---|----|---|----|
| 1 | X | 不動 | Y | 地藏 |
| 2 | X | 加持 | Y | 験徳 |
| 3 | X | 紫雲 | Y | 天花 |
| 4 | X | 定業 | Y | 非業 |
| 5 | X | 智者 | Y | 貴人 |

問八 傍線部E「兎角の弓に亀毛の矢をはげ、空花のまとを射むとする」はどのようなことか。最も適切なものを次の1〜5の中から一つ選び、その符号をマークせよ。

- 1 大言壮語すること。
- 2 高尚なことを求めること。
- 3 無理難題を吹きかけること。
- 4 異国の物にあこがれること。
- 5 有り得ないことにこだわること。

問九 空欄  Z に入る最も適切な語を次の1〜5の中から一つ選び、その符号をマークせよ。

- 1 ものうく
- 2 びんなく
- 3 くちをしく
- 4 ざらやましく
- 5 つきつきく